

k.LAB Japan の紹介 ver2018. 11. 28

【k.LAB とは】

セマンティックやオントロジー等の AI(人工知能)を用いた統合型のグローバル生態系サービスモデルを開発しているスペイン BC³(Basque Centre for Climate Change)の Ferdinando Villa 教授らの研究チームとの共同研究として、グローバルの統合型生態系サービス・エネルギー・環境モデルの日本モデルの開発を行っている。本モデルは、世界各地において各種の生態系サービスの空間評価を様々な空間分析スケールで実施可能なものであり、応用性が高い。

特徴

- ・ グローバルな生態系サービス評価が可能
- ・ web ブラウザー上で操作が可能
- ・ 自由にスケールの変更が可能 (数センチから国スケール)
- ・ 多様な生態系サービス評価モデルが内蔵
- ・ 独自の新しい生態系サービス・エネルギー環境モデルの取り込みが可能
 - UAV データ、再生可能エネルギー等への拡張
- ・ 等

【k.LAB Japan とは】

k.LAB Japan とは、名古屋大学、国立環境研究所、大阪大学、中部大学、東京農業大学等のメンバーで構成される k.LAB の日本の事例研究を進める研究会である。2017年 11 月より 2-3 か月に一度の勉強会を開催している。

【コンタクト】 一ご関心のある方は以下にコンタクトをお願いします。

名古屋大学未来材料・システム研究所

林 希一郎 教授 maruhaya98-(at) imass.nagoya-u.ac.jp

